

# 令和4年度石と賢治のミュージアム運営委員会 会議録

- 1 会議名 令和4年度石と賢治のミュージアム運営委員会
- 2 開催日時 令和4年4月22日（金） 午前10時から午前11時
- 3 開催場所 石と賢治のミュージアム
- 4 出席者
  - (1) 委員 山崎司朗委員（委員長）、山崎幸一委員、佐々木賢治委員、佐藤郁子委員、菅原文男委員、伊東洋司委員、前田眞委員、山崎一委員、吉田美和子委員、佐藤美枝委員
  - (2) 事務局 佐藤鉄也東山支所長、菅原淳館長、佐藤悦子館長補佐
- 5 議題
  - (1) 令和3年度石と賢治のミュージアム事業報告について
    - ア 令和3年度自主事業等事業報告
    - イ 令和3年度来館者数
  - (2) 令和4年度石と賢治のミュージアム事業計画（案）について
    - ア 令和4年度自主事業等事業計画（案）
  - (3) その他
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 0人
- 8 挨拶
  - (1) 東山支所長挨拶

コロナ禍ではありましたが、年間の入館者数が思ったより減っていないので安心しています。本日は、お忙しい中、委員全員のご出席をいただきありがとうございます。よろしくお願ひします。
  - (2) 館長挨拶

昨年度はコロナ禍で中止となった事業がありましたが、感染対策を徹底し可能な限り開催してまいりました。今年度につきましても、充実した事業を行っていきたいと思っております。
- 9 審議内容
  - (1) 令和3年度石と賢治のミュージアム事業報告及び(2)令和4年度石と賢治のミュージアム事業計画（案）について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 コロナ禍で、館内のガイドについてどのように対応しているか。

事務局 以前は、1対1で館内のガイドを実施していたが、現在は職員の操作が必要とする一部のコーナーだけ行っている。今後も県内等の感染状況を見ながら対応したい。

委 員 展示を眺めるだけよりも、ガイドがあると余計に印象付けられるので、状況を見ながらと思うが、ぜひガイドを再開してほしい。

委 員 入館者がコロナ禍にも関わらず減っていないのは、関係者一同の努力の賜物と思う。事業の内容について、地域のものを掘り起こし、企画、実施していく考え方はとても共感できる。今後もこういった方針を続けてほしい。

事務局 昨年6月に実施した化石セミナーでは、気仙沼市、南三陸町の団体にも協力いただき巡回展を開催した。東山町の化石を沿岸で展示し、また、沿岸の化石をミュージアムで展示するといったように良い交流の機会となった。

委 員 修学旅行等で子供たちが訪れる際、賢治について勉強してきているようだ。ミュージアムにも見学に来ると思うが、経験学習の場としての役割など、そういうタイミングを大事にしてほしい。

事務局 宮沢賢治が技師として勤めていたということは、地域にとって大きな財産なので今後も大いにPRしてほしい。運営委員会でもイベントを企画したいと考えており、賢治が聞いていたレコードの鑑賞会を実現したいと考えているので、委員の協力をよろしくお願ひしたい。

## 10 担当課 教育部 一関市石と賢治のミュージアム